

交通政策論

担当者 松尾 俊彦

開講時期 後期

単 位 2

●講義の概要

20世紀に世界を席卷したクルマ社会は、公共交通の充実や地球温暖化対策、さらには高齢化社会への対応などから、新たな姿への変化を余儀なくされている。また、今日の規制緩和の流れは、交通分野に様々な影響を及ぼしている。

このような時代を自覚しつつ、総合的な交通政策はいかにあるべきかを追究する。

●講義の到達目標

自動車、鉄道、航空などの交通諸分野における政策を修得し、地域的な交通政策の立案能力や交通問題の解決能力を身につける。

●講義計画

- 第1回：本講義の目的と概要
- 第2回：交通政策の必要性
- 第3回：交通政策の手段と主体
- 第4回：都市内交通の課題と対策
- 第5回：都市間および地域交通の課題と対策
- 第6回：道路政策
- 第7回：航空政策
- 第8回：空港政策
- 第9回：外航海運政策
- 第10回：内航海運政策
- 第11回：港湾政策
- 第12回：環境問題対策
- 第13回：安全・事故対策
- 第14回：労働問題対策
- 第15回：総括

●成績評価基準と方法

授業に対する積極的姿勢（質問、意見表明など）を50%、レポートを50%として評価する。

評価の基準としては、交通諸分野における政策の特徴や残されている課題を理解していることや自身の意見を明確に述べるができることを重視する。

●テキスト又は参考文献

参考文献としてISBN 9784425928514『現代交通問題考』衛藤卓也ほか、成山堂書店（2015）

その他の参考文献は適宜紹介する。

●受講上の留意点

高速道路料金の割引率の変化、ローカル線の廃止、羽田空港の国際線化など、わが国の交通政策は変革期にある。討論の時間を多く持つので、積極的に参加して欲しい。